

「精神医学の社会的基盤」研究会(4)

Social Basis of Psychiatry Project Research Meeting #4

2017年9月19日(火)16:00-20:30

東京大学駒場Iキャンパス14号館7階708号室

ACT(包括型地域支援プログラム)発祥の地マディソン市:

マディソンモデル視察報告・講演 16:00-18:00

久永文恵(認定NPO法人 地域精神保健福祉機構・コンボ)

山田理絵(東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程)

講演 18:30-20:30

植村太郎(神戸労災病院)

家族療法/ブリーフサイコセラピーから、
私が学んだもの・助けられたこと。



オープン・ダイアログ (OD)は日本の精神医療にとって、唯一とは言わないまでも、残されたわずかな希望の一つだと私は思っています。

これを日本に広めたくて、志を同じくする人達とオープンダイアログ・ネットワークジャパンという組織に参加しており、今年の5月から始まった、この組織の主催するトレーニングコースでODを学んでもいるわけですが。その経験の中で、私が痛切に感じているのは、日本において家族療法が如何にマイナーな存在かということです。ODは広い意味で家族療法コミュニティから生まれてきたものだと言うのに。私は家族療法学会の評議員でもあるので、ODNJPの総会でODを志向する人達に向けて、家族療法も学んで欲しいと遠慮がちに主張したところ、後日石原先生からお声がかかり、こうして講演させてもらうことになりました。家族療法の何が魅力で、どうオープン・ダイアログとつながっているか等について、私の臨床経験に基づいたお話をさせていただこうと思っています。

※参加ご希望の方は[こちら](#)からご一報ください。

科研費・基盤研究B(16H03091)精神医学の社会的基盤—対話的アプローチの精神医学への影響と意義に関する学際的研究(研究代表:石原孝二)JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (B) (16H03091) "Social Basis of Psychiatry: P.I. Kohji Ishihara (UTokyo)